

プログラム名	プログラム内容	担当受入機関	標準プログラム	就業体験	所要時間 (h)	実施可能時期	プログラムの特徴		
							主要な業務	研究的業務	広島県に特徴的な業務
保健環境センターの概要説明【必須プログラム】	保健環境センターの沿革や実施している事業等についての説明	保健環境センター	○		0.5	7月～3月			
保健環境センター獣医師の業務内容説明【必須プログラム】	保健環境センターで勤務する獣医師が携わる業務についての説明	保健環境センター	○		0.5	7月～3月			
保健環境センター施設見学	保健環境センターのウイルス及び細菌分析施設等の見学	保健環境センター	○		1	7月～3月			
ウイルス検査に関する講義	感染症発生動向調査、流行予測調査、事案対応、食の安全について	保健環境センター	○		1	7月～3月			
バイオハザード対策に関する講義	病原体を扱うために必要な基本的知識についての講義	保健環境センター	○		0.5	7月～3月			
感染症発生動向調査事業の説明・検査実習	ウイルス（インフルエンザ、ノロウイルス等）の遺伝子検査実習（リアルタイムPCR）	保健環境センター	○	○	3	7月～3月	○	○	
感染症に関する講義	ダニ媒介感染症、新興再興感染症、パンデミック対応等についての座学（PCRの反応時間中に実施することを想定）	保健環境センター	○		1	7月～3月			
細菌検査に関する講義	感染症発生動向調査、事案対応、薬剤耐性菌、海域調査や食の安全についての講義	保健環境センター	○		1	7月～3月			
細菌検査実習	病原菌等を培地に塗布し、菌の形態や性状の観察を行う。	保健環境センター	○	○	3	7月～3月	○	○	
クドア顕微鏡検査等	ヒラメやカンパチに寄生し、食中毒の原因となる粘液胞子虫を顕微鏡で観察する。	保健環境センター	○	○	1	7月～3月			
カキ養殖海域調査の説明	広島県の特産カキの養殖海域における海水とカキの検査概要の説明	保健環境センター	○		0.5	7月～3月			
研究員と座談会	研究員との意見交換	保健環境センター	○		0.5	7月～3月			
カキのノロウイルス検査体験	県内で養殖されている養殖海域のカキについて、ノロウイルスモニタリング検査を体験	保健環境センター		○	3日	7月～3月			○
カキの養殖海域調査体験	県内で養殖されているカキ及び養殖海域の衛生実態について把握する検査の体験	保健環境センター		○	要相談～1日	7月～3月			○
感染症流行予測調査（日本脳炎）の検査体験	ブタの日本脳炎の抗体及びウイルス遺伝子の保有状況検査により県内の日本脳炎の潜在的流行を探る調査の体験	保健環境センター		○	2日	7月～9月			○
畜産技術センターの概要説明【必須プログラム】	研究紹介、事業紹介（精液・受精卵販売）、センターの役割（県施策上の位置づけ）、センター・広島和牛の歴史	畜産技術センター	○		0.5	通年			
畜産技術センター獣医師の業務内容説明【必須プログラム】	センターで勤務する獣医師が携わる業務についての説明	畜産技術センター	○		0.5	通年			
研究ガイダンス	センターで実施している研究の紹介	畜産技術センター	○		1	通年			
受精卵製造業務1	経膈採卵・繁殖検診	畜産技術センター	○		2	通年	○		○
受精卵製造業務2	卵子検索、体外受精用精液の処理、体外受精受精卵培養（タイムラプス観察）	畜産技術センター	○	○	1	通年	○	○	○
受精卵製造業務3	受精卵品質判定、受精卵凍結保存（新技術）	畜産技術センター	○	○	1	通年	○	○	○
種雄牛調教	種雄牛管理方法（調教、手入れ等）	畜産技術センター	○		1	通年	○		○
凍結精液製造業務1	精液採取、精液の処理	畜産技術センター	○		1	通年	○		○
凍結精液製造業務2	精液の品質判定（画像診断）、染色凍結処理	畜産技術センター	○	○	1	通年	○	○	○
搾乳業務	ロボット搾乳、バケツミルク搾乳	畜産技術センター	○	○	1	通年	○		○
牛の管理業務	牛の取り扱い（ロープワーク）、除角、去勢（観血）、採血（頸静脈、尾静脈）、採血時の保定、治療・予防接種、子牛の哺乳（ロボット）	畜産技術センター	○	○	1	内容による	○		
屋内分析業務	血液生化学検査（血液処理を含む）、飼料分析、牛肉成分分析、遺伝子解析	畜産技術センター	○	○	2	内容による	○	○	○
研究員と座談会	研究員との意見交換	畜産技術センター	○		1	通年			
ニーズ調査【出張業務】	畜産農家立入、家畜市場調査、出荷枝肉調査、精液・受精卵利用促進	畜産技術センター	○	○	内容による	内容による			
繁殖業務1	直腸検査、妊娠鑑定（超音波画像診断他）	畜産技術センター		○	2	通年	○		
繁殖業務2	人工授精、受精卵移植	畜産技術センター		○	2	通年	○		
肉質診断業務	超音波肉質診断	畜産技術センター		○	1	通年	○	○	○
牛の体型審査・判定	和牛の体型審査（体測）、乳牛のBCS判定、鼻紋採取	畜産技術センター		○	1	通年	○		
振り返り【必須プログラム】	各受入機関の職場体験の最後に振り返りを行う。実施計画の最終日の振り返りの時間の一部は、アンケートの回答の時間に充てる。	保健環境センター・畜産技術センター	○		0.5	通年			